

## 経済生活設計表作成手順

経済生活設計表は「経済生活に関する計画や出来事」と「収支計画」の二つの表で構成されています。これよりその作成手順を順に説明します。

- ① 暦年、本人、家族の年齢の記入  
設計表の右上に作成日、名前を記入します。  
設計表の年の欄に暦年を記入します。本人、家族の名前をカッコ内に記入後、誕生日以降の満年齢を順次記入します。
- ② 経済生活に関する「計画や出来事」の記入  
計画や予想される出来事を洗い出し、その「収入」「支出」の見積の金額を「計画や出来事(計画や出来事に伴う収入金額・支出金額)」欄にそれぞれ記入します。金額は、将来おきる出来事でも、現在の金額で見積もります。計画や出来事による収入・支出を「収支計画」に反映させます。

### 出来事例

海外旅行・国内旅行・家族旅行、車の購入(買い替え)、スポーツジム、地域活動・サークル活動、帰省・同窓会、一人暮らし、結婚、子どもの保育園・幼稚園の入園、子どもの習いごと・塾、教育費、住宅の購入・リフォーム、大型家電・PC・家具等の購入、専門学校等に通うなどの自己啓発、記念日(結婚・誕生日など)など

- ③ 経済生活設計表の「収支計画」の記入  
収入欄・支出欄の本年度分と現在の貯蓄額を入力します。  
②で作成した「計画や出来事」にもとづき、将来にわたる収入、支出の額を記入し、それぞれの小計を計算します。  
設計表の各年ごとに「収入」-「支出」を計算し、「収支の差額」に記入します。  
マイナスになった場合は「▲」をつけてください。

### 収入の例

私の収入	給与、賞与、パート収入などの「1年間の手取り金額」
配偶者の収入	※手取り金額=支給額-(所得税+住民税+社会保険料)
その他	親からの仕送りなど

### 支出の例

日常生活費	衣料費、食費、日用品、交通費(自動車の維持費)など
住居費	家賃、電気・水道・ガス代など
健康・医療	医療費、フィットネスクラブなど
余暇活動費用	交際費、趣味、旅行など
掛金(保険料)	生命保険、自動車保険などの掛金(保険料)
教養・自己啓発	書籍購入、通信教育、研修会参加費など
通信費	スマホ、ネット接続代などの費用
養育関係費	保育費、子ども学費、塾など
ローン等返済額	奨学金の返済、自動車・住宅ローンなど
大型出費	車の買替、家具・大型電気製品等の購入
その他	親への支払いなど上記に該当しない支出を記入
預貯金の積立	貯蓄性の保険・私的年金を含む

- ④ 貯蓄累計額の計算  
「現在の貯蓄額」を調べて記入します。  
初年度の貯蓄累計額  
「預貯金の積立額」+「収支の差額」+「現在の貯蓄額」を計算し、設計表の「貯蓄累計額」に記入します。  
次年度以降の貯蓄累計額  
「前年の貯蓄累計額」+「当年の預貯金の積立額」+「当年の収支の差額」で計算します。

**経済生活設計表**

年 月 日作成  
名前 \_\_\_\_\_

[経済生活に関する計画や出来事]

(単位:万円)

家族の年齢	名前	年											
計画や出来事 (計画や出来事に伴う 収入金額・支出金額)													

[収 支 計 画]

(単位:万円)

収入	私の収入												
	配偶者の収入												
	その他												
	小計①												
支出	日常生活費												
	住居費												
	健康・医療												
	余暇活動費												
	掛金(保険料)												
	教養・自己啓発												
	通信費												
	養育関係費												
	ローン等返済額												
	大型出費												
	その他												
	[A] 預貯金の積立												
小計②													
[B] 収支の差額(①-②)													
貯蓄残高													

[C] 現在の貯蓄額  万円